

「古河林業サステナビリティサイト」を新たに公開 ～創業150余年の歴史が紡ぐ“森林再生サイクル”と“国産材100%の家づくり”～

国産材100%の注文住宅を提供する古河林業株式会社（代表取締役社長：古河 潤一、以下「当社」）は、当社の持続可能な社会への取り組みを網羅した「古河林業サステナビリティサイト」を、2026年2月2日（月）より公式Webサイト内にて公開いたしました。

■開設の背景

脱炭素社会の実現に向け、住宅産業においても環境負荷低減への責任が問われています。明治8年の創業以来、国土の約1/6,000にあたる自社有林を管理し、「植える・育てる・伐る・使う」という“森林再生サイクル”を実践してきた当社だからこそ、広く社会に「森の循環」を示していくことが役割であると考えました。本サイトでは、これまで専門的になりがちだった林業と住宅の関係性を、より多くのお客様やステークホルダーの皆様に具体的にお伝えします。

■主なコンテンツ

1. 古河林業の価値創造～森林再生サイクルによるCSV経営の実現

約6,500haの自社林を舞台に、「植える・育てる・伐る・使う」の循環を可視化。秋田杉や伊勢ヒノキが住まいに変わるまでのプロセスを通じ、環境・経済両面での貢献を紹介します。

2. 私たちの5つの取り組み

国産材100%住宅による地球環境保全や、J-クレジットへの対応、林業・プレカット事業等を通じた地域経済の貢献など、脱炭素社会と生物多様性保全、各所連携に向けた具体的なアクションを掲載しています。

3. 身近な自然体験～大黒柱ツアーの魅力と価値

2025年に20周年を迎えた「大黒柱ツアー」を紹介。お客様自らが山へ入り、家を支える1本を選ぶ「一生に一度の体験」を通じた、山と人をつなぐ新しい価値を提案します。

当社は、「日本の家には、日本の木が最適である」という信念のもと、本サイトを通じて森林資源の重要性を発信し続けるとともに、事業活動そのものが環境貢献となる企業経営を推進してまいります。

以上